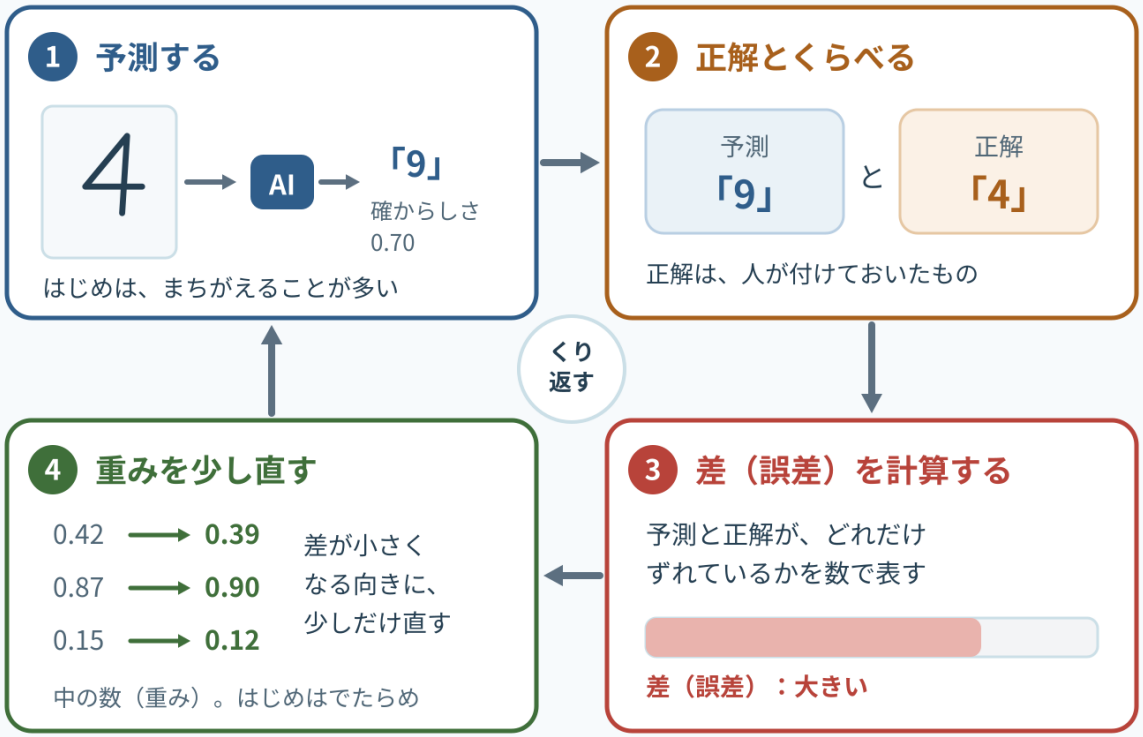
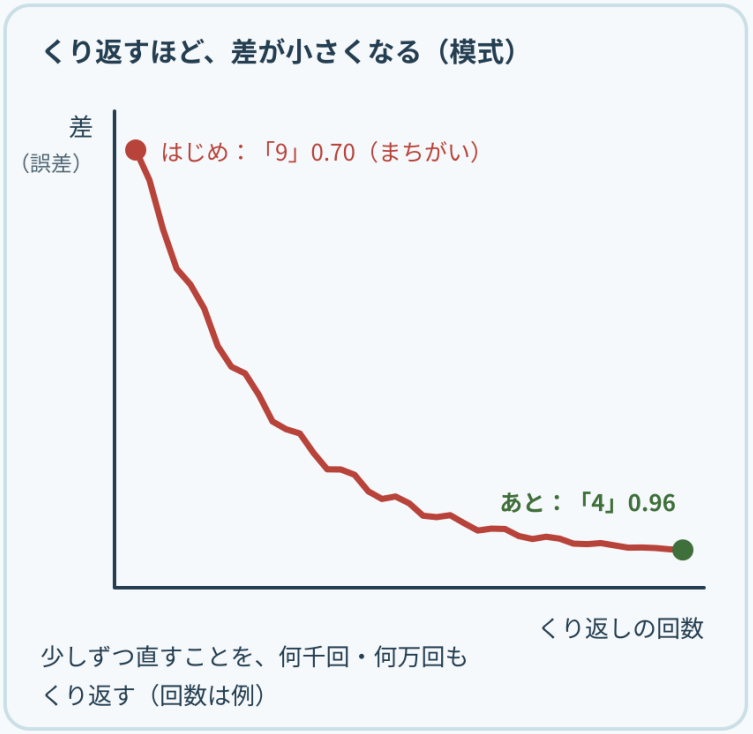
AIはまちがいから学ぶ（予測と正解の差を小さくする）

AIは、どのようにして答えを正しくしていくのだろう

例：手書きの数字が「4」か「9」かを見分けるAI（架空）





直し方のよび名

差が小さくなる向きを計算で求めて直す方法
（勾配降下法）や、出力の差を前の層へ伝えて
直す方法（誤差逆伝播法）がよく使われる

気をつけること

学習に使ったデータだけに合わせすぎると、
新しいデータでは正しく答えられない（過学習）。
学習に使っていないデータで確かめる

※ 例は架空。数（確からしさ・重み）とグラフの形は説明のための例。